

氏名	藤川信昌		
学位の種類	医学博士		
学位授与番号	乙第1755号		
学位授与の日付	昭和62年3月31日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者(学位規則第5条第2項該当)		
学位論文題目	大槽内留置カテーテル法による、けいれんに伴う髄液中の guanidino化合物の変動に関する研究		
論文審査委員	教授 庄盛敏廉	教授 大田原俊輔	教授 大月三郎

学位論文内容の要旨

ウサギの大槽内にカテーテルを留置し、容易に常時髄液を採取する方法を開発し、髄液を採取後guanidino化合物の分析を行った結果、100 μ lのウサギ髄液中に、guanidinoacetic acid, creatinine 及び arginineが測定可能であることが認められた。次いでウサギに pentylenetetrazol (PTZ) を静注し、けいれん開始時及びけいれん後において、経時的に同一個体の髄液中の guanidino化合物の変動について検索を行なった結果、けいれん開始時には guanidinoacetic acid と creatinine が有意に増加していることがわかったが、けいれん後2時間目には、これらの変化は対照値に回復していること、arginineはけいれん後2時間目から2日目まで経時的に著明に減少していたが、3日目には、この変化は対照値に回復していることが明らかになった。以上の諸成績から、ウサギのPTZけいれん発現機構にはguanidinoacetic acid 及びcreatinineが大きく関与すること及びけいれん後の脳内guanidino化合物の代謝回復には少なくとも4日間を要することが明らかとなった。

論文審査の結果の要旨

本研究は実験てんかんにおける脳内グアニジノ化合物について、その脳せきずい液中動態を研究したものであるが、従来ほとんど明らかにされていなかったケイレン発作に伴なう変動について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。